

事業報告

関連企画



事業報告 関連企画

東アジア文化都市2022大分県写真展

開催日／2022年5月2日(月)～8日(日)
会場／アクロス福岡(福岡県福岡市)
来場者数／7,747人
主催／大分県



東アジア文化都市2022大分県の開幕事業に先立ち、福岡県で写真展を開催。大分県の芸術文化をはじめ、中国で無形文化財が多い都市である中国温州市や、「泉の都」と呼ばれる中国済南市、都市全体が「屋根のない博物館」と呼ばれている韓国慶州市の観光名所など約20点を展示し、各都市の魅力を紹介。GWや博多どんたくの時期と重なり、多くの来場者にPRすることができました。

日本(山東)輸入商品博覧会

開催日／2022年7月15日(金)～18日(月)
会場／済南国際会展センター(中国済南市)
来場者数／200人
主催／済南市人民政府及び山東省商務庁



県産養殖クロマグロの販促とともに、東アジア文化都市2022大分県のPRを兼ねて初出展。ブースには、文化を通じた国際交流を進める東アジア文化都市のパネル等を展示し、中国市場で需要の高いクロマグロの解体ショーなどを行いました。クロマグロの品質と鮮度の良さが済南市内の飲食店から高く評価され、この取組を通して新たに済南市への物流・商流が構築されました。

東アジア陶磁器展

開催日／2022年7月12日(火)～9月25日(日)
会場／大分県立埋蔵文化財センター(大分市)
来場者数／1,240人
主催／大分県



具内の遺跡から出土した、古代から近世までの中国産・朝鮮半島産の陶磁器を約60点展示。中国の唐時代から清、朝鮮半島の高麗から李氏朝鮮の時代に生産された陶磁器を通じて、大分と中国・朝鮮半島との交流の歴史を理解するとともに、遺跡出土の陶磁器が中国や朝鮮半島から大分にもたらされた歴史的な背景を探る企画展を開催しました。

吉祥航空の乗務員による 大分県観光情報LIVE配信事業

開催日／2022年8月23日(火)
会場／吉祥航空公式bilibiliチャンネル(オンライン)
来場者数／23,057人(総視聴者数)
主催／大分県



吉祥航空公式bilibiliチャンネル上で、フライトシュミレーターを活用した大分への模擬フライト及び大分県の観光に関する情報をライブ配信。温泉、観光地、グルメ、歴史・文化の4テーマで約2時間のプログラムを実施。特に歴史・文化編では、大分県立美術館や臼杵石仏等、東アジア文化都市事業に関連したスポットを重点的に紹介。サイト内のシステムで、配信コンテンツや人気度などに応じて選出される「時間制限人気プレイリスト」において、2位に選出されました。

日本・中国・韓国をつなぐ祈りの歴史

開催日／2022年9月6日(火)～12月4日(日)
会場／大分県立歴史博物館(宇佐市)
来場者数／3,971人
主催／大分県



弥生時代の農耕祭祀、古墳時代の葬送思想、仏教伝来、竹工芸の4つのテーマに焦点をあて、大分に残る様々な文化財の展示を通じて、弥生時代から現代までの日本と中国、韓国との“祈り”の歴史を紹介しました。会期中には韓国慶州市長が来館し、宇佐で出土した朝鮮半島産の銅鐸を見学するなど、国内外の方々にとって関心の高い展示となりました。

海峡をつなぐ現代日韓陶芸展

開催日／2022年9月9日(金)～12月25日(日)
会場／久留島武彦記念館(玖珠町)
来場者数／1,912人
主催／玖珠町・玖珠町教育委員会・久留島武彦記念館



大陸の影響を受けながら、現代へと変遷した日韓両国の陶磁の独特な美学を紹介する展示会を開催。中津市耶馬溪町でつくられた「耶馬高麗焼」をはじめ、日本からは濱田庄司氏、藤原啓氏、井上萬二氏、韓国からは金正玉氏、申相浩氏などの人間国宝級の陶芸作品を中心に全50点を紹介しました。久留島武彦記念館横の旧久留島氏庭園の紅葉と数々の陶芸作品の鑑賞に多くの団体客が訪れ、芸術の秋を堪能しました。

パラアートOITA

開催日／2022年10月3日(月)～30日(日)
会場／大分県立美術館(大分市)
来場者数／6,422人
主催／大分県



中国温州市・済南市、韓国慶州市、大分県の各都市から、障がいのある方の個性を表現するアート＝「パラアート」の作品を一堂に集めた展示会を開催。絵画や書、陶芸など、各都市から10作品ずつ、計40作品を展示しました。期間中は県内作家による「アート公開制作」のほか、缶バッジ・マグネット制作や粘土で遊ぶワークショップも実施しました。

ナチュラルだけど、盆栽 ～100年積み重ねの美～

開催日／2022年10月9日(日)・10日(月)
会場／長崎鼻リゾートキャンプ場(豊後高田市)
来場者数／約20人
主催／松田盆栽園



中国から伝えられ、日本で独自の発展を遂げた盆栽。今や「BONSAI」として世界中に浸透し、芸術作品が重ねてきた歴史の美を伝える展示会を開催。普段見る機会の少ない古い盆栽なども展示。盆栽を眺めるだけでなく、来場したほとんどの方が盆栽の説明に足を止め、「こんな盆栽見たことがない」「また開催される時は行きたい」「苔盆栽は自然の風景でいいね」等、うれしい言葉をいただきました。

第31回けんしん美術展

開催日／2022年10月12日(水)～21日(金)
会場／大分県信用組合 本店(大分市)
来場者数／600人
主催／大分県信用組合



県内在住者の芸術活動を応援し、地域の文化活動の役に立ちたいとの考えから開催している美術展。今回は16歳から90歳まで幅広い年齢層の方々が出展。最高賞である「第31回けんしん大賞」には山本大補氏の丁寧で緻密に描かれた力作「moment」が選ばれました。また、おおいた障がい者芸術文化支援センターの「障がい者アート作品展」を同時開催。県内2か所で巡回展も行いました。

東アジアのやきもの 美の再発見

開催日／2022年10月16日(日)～11月6日(日)
会場／日出町立図書館(日出町)
来場者数／4,889人
主催／日出町教育委員会 社会教育課



文化を通じた国際交流を深めながら、東アジアの多様性の尊重に貢献することを目的として、焼き物の展示会を開催。中国・宋時代に作られた青磁や韓国の高麗青磁、日本からは伊万里焼の柿右衛門や鍋島青磁、弥生土器、須恵器など、数十点を展示しました。本イベントを通じて日本をはじめ、中国温州市・済南市、韓国慶州市の文化の流れを感じてもらうことができました。

韓国旅行会社等招請事業

開催日／2022年10月26日(水)～29日(土)
会場／大分県内各施設(豊後高田市・日出町・杵築市・由布市・別府市・大分市・日田市)
来場者数／8人
主催／大分県



慶州市を含む韓国全土でツアーを企画している旅行会社等を招請し、県内の観光施設や宿泊施設のPRを行いました。杵築の城下町や大分県立美術館等、文化関連施設のほか、東アジア文化都市の概要や取組も紹介。この事業をきっかけに、旅行会社等が大分県立美術館をはじめ大分市周辺の散策を含めた旅行商品を新しく企画、造成するという成果もありました。

皆で作るプラごみアートPROJECT

開催日／2022年10月29日(土)、
10月30日(日)～11月6日(日)
会場／大分いこいの道広場(大分市)ほか
来場者数／5,395人
主催／大分県



©淀川テクニック Courtesy of Yukari Art

プラスチックごみ削減に向けた意識啓発を目的に海岸漂着ごみ等を材料としたアート作品の作成。環境教育アドバイザーによるプラスチックごみの現状等の学習や、海岸や河川等で清掃活動を行うとともに、作品の材料となる素材を収集し、参加した各学校で作品を制作しました。最後はアーティスト 淀川テクニック氏の手によって仕上げ、プラごみアート「おおいたブラッティ」を展示しました。

オソワ（ようこそ）！ 韓国ははじめてよね？

開催日／2022年11月4日（金）
会場／九重町立野上小学校（九重町）
来場者数／30人
主催／九重町



韓国慶州市出身の国際交流員を招き、韓国と慶州の文化に関する講座や慶州の昔の王が着けていた「冠」の工作に取り組んだほか、韓国の文化や食事のマナーなどについてクイズ形式で教わりました。冠の制作では、ハングル-ひらがな対応表を見ながら、自分の冠にハングル文字を書き込むなど、思い思いのデザインを施しました。韓国の食文化や衣服について楽しく学ぶことができました。

大分県物産・観光・文化交流会（済南市）

開催日／2023年2月18日（土）
会場／インターコンチネンタル済南シティセンター
（中国済南市）
来場者数／50人
主催／大分県



済南市政府、済南市内の小売店・飲食業・旅行者等を招待し、県産酒をはじめ、物産品展示及び商談、観光PR、芸術文化を紹介。文化交流のほか、観光や産業分野など幅広い交流ができました。来場者からは「大分県のお酒やマグロなどの魅力を知ることができ、大分の文化や産業などをもっと知りたいと思った」などの感想をいただきました。

大分県物産・観光・文化交流会（温州市）

開催日／2023年3月4日（土）
会場／温州シェラトンホテル（中国温州市）
来場者数／50人
主催／大分県



温州市副市長をはじめ、温州市政府、温州市内の小売店・飲食業・旅行者等を招待し、県産酒をはじめ、物産品展示及び商談、観光PR、芸術文化を紹介。文化交流のほか、観光や産業分野など幅広い交流ができました。来場者からは、「日本の焼酎は水や氷で割って飲む文化があることを知った」「今回の交流会で大分県を知ることができ、旅行先の候補にしたいと思った」などの感想をいただきました。

事業報告 交流都市イベント

温州市

「東アジア文化都市」書道家作品招待展

開催日／2022年10月24日(月)～28日(金)
会場／温州市文化芸術研究院(温州美術館)



書道を通じて日中韓3か国の市民交流を図るため、温州市をはじめ、済南市、慶州市、大分県など各交流都市の書道家たちによる計103点の作品が展示されました。

なお、本県から出品した作品は、東アジア文化都市間の友好交流にとって非常に貴重なものとして、温州市文化芸術研究院(温州美術館)からの申し出もあり、同館に寄贈、収蔵されました。

慶州市

東アジア文化都市酒類文化フェスティバル

開催日／2022年6月9日(木)～12日(日)
会場／慶州和白コンベンションセンター(HICO)



日中韓の各国、各交流都市の代表的な酒類を通じて、文化の相互理解を深めるため、各交流都市の酒類の紹介や試飲が行われました。会場では慶州市をはじめ、大分県、温州市、済南市の各ブースが設置され、大分県ブースでは本県が誇る焼酎や日本酒を紹介しました。

慶州市

東アジア文化都市文化シンポジウム

開催日／2022年9月2日(金)
会場／慶州 ヒルトンホテル



東アジア文化都市の文化交流活性化と相互協力の一環として、各交流都市が保有している仏教文化遺跡やその保存法についてのシンポジウムを開催。冒頭で国宝白杵石仏を有する白杵市の中野五郎市長の祝賀動画、白杵市PR動画が紹介されました。日中韓の専門家によるシンポジウムでは、本県からも2名が出席し、白杵石仏の意義や成立の背景、保存対策等について発表を行いました。

芸術文化を大事にする 大分県の皆さんへ

10月に開催された「DRUM TAO 日中韓交流フェスティバル」にて、DRUM TAOの拠点である久住高原での時間は、素晴らしい体験であり感動そのものでした。こんなにも美しい風景に囲まれ、エネルギーに沸くDRUM TAOの皆さんと歴史に残る舞台で共演することができ、大変感激しました。

演奏した瀧廉太郎の「荒城の月」では、太鼓と踊り、そしてチェロとの二重奏という世界初のパフォーマンスを実現でき、幻想的な作品につくりあげることができたと思っています。これからもこのようなコラボレーションが大分県の優れた文化として、世界へ発信していくことを期待しています。

歴史の流れから見たアジアの中で、漢字文化圏といわれる中国、韓国、日本という国々のつながりは切っても切れないほど関係が深く、お互いが平和的に依存するためには、それぞれの文化を知ることが大事だと思います。その一番良い方法こそが、芸術・文化の交流を大切にいくことだと日々感じています。これからも様々な分野での深い交流機会をたくさんつくってほしいと思います。



二胡奏者
許可 Xu Ke

©Toru Shiozaki

離れていても、お互いの国の文化を見つめ続けたい

私たち「日田もりあ下駄い」は、日田市の魅力を多くの方に知ってもらえるように、特産品である日田下駄を履いたパフォーマンスでイベントや動画投稿などの活動をしています。K-POPが大好きなメンバーも多く、パフォーマンスにもたくさん取り入れてきました。

そんな私たちが2022年に慶州市の舞台に立つことが叶い、私たちを受け入れてくれた慶州市と威徳大学日本語文化学科の皆さんとの時間は、これまでの価値観が変わるほどの刺激と自信をチームにもたらしてくれました。

そして何よりも感動したのは、威徳大学の学生の皆さんのおもてなしの心。流ちょうな日本語で慶州市を案内してくれたことで、私たちにとっても慶州市は大切な場所になったのです。その影響で、威徳大学の皆さんが日田に来てくれた際も同じように日田を楽しんでもらおうと、たくさんの場所や食、文化を案内したい気持ちが一層強くなり、改めて日田の良さを見直す機会になりました。

今回の交流で学んだのは、「地元をどのように伝えるか」＝「相手のことをどれだけ思っているか」ということ。その思いを伝えるために、もっと日田を深く知り、“日田愛”をさらに表現できるようなパフォーマンスに磨きをかけていきたいです。

お互いの国の文化への興味から始まった慶州市とのつながりは、一生忘れられない経験となり、これからも続いていく絆となりました。



日田もりあ下駄い 代表
渡邊陽香
Haruka Watanabe